

トレーサーガス工法の手順 〈バリोटック460/HT-55使用〉

バリोटック
460 動画▶



HT-55
動画▶



1 量水器の止水栓を閉じて探索区域を閉塞し、メーターや蛇口などから配管内の水を排出します。



2 トレーサーガス造成装置の吐出口に吐出用ホースを取り付けます。
排水口には排出用ホースを取り付けます。



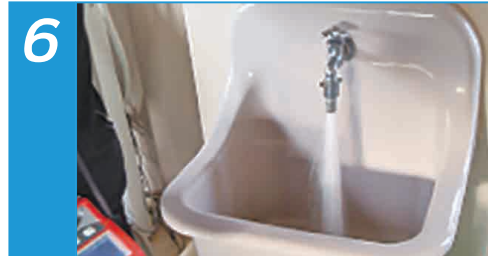
3 量水器に近い水栓に吐出用ホースを接続します。
※ガス注入時に水栓を開きます。
※必ず逆止弁を取り外してください。
排出用ホースの末端は探索の妨げにならないようになるべく遠くへ持っていきます。



4 HT-55のアースを接続し、電源コードをコンセントに繋がります。
電源を入れてトレーサーガスを注入します。



5 左下の①電源ボタンを押し電源をONにします。
数字が点滅→点灯に変わったら使用可能です。
※この時に水素ガスを吸引させないでください。
探索プローブ、ホースを本体に接続してください。



6 注入した箇所から一番遠い栓を開け、残った水を放出します。
気体が噴出し出したらバリोटックを使用し、ガスの噴出を確認します。
※ガスの噴出が確認できたら再度閉じて下さい。



7 各水栓を開け、ガスの噴出を調べて配管内にガスが充満したことを確認します。
※確認後は必ず閉じてください。



8 配管上を探索プローブで探索歩行します。配管路が不明な場合は碁盤の目に沿うように探索すると効果的です。



9 漏水箇所が無い箇所では、機器は反応しません。



10 漏水箇所に近づくと機器が音と光で発信し、画面の数値が上がります。この数値が最も高い地点が漏水箇所となります。